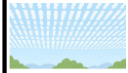


2026年 第36週8月31日～9月6日

西多摩保健所感染症週報

東京都西多摩保健所
Tel 0428-22-6141



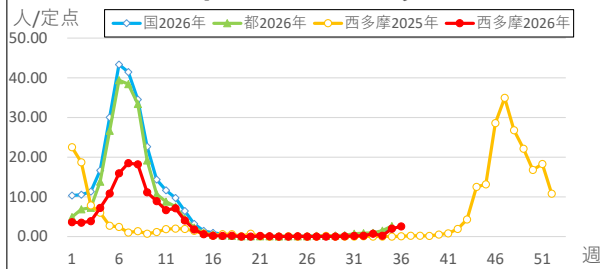
管内の発生動向及び定点把握対象疾患 () は内訳又は前週値

- 全数届出の疾患は、腸管出血性大腸菌感染症1件（40代男性）の報告がありました。
- 定点報告では、インフルエンザ2.57（2.00）、新型コロナウイルス感染症1.14（0.71）、感染性胃腸炎1.50（1.13）、急性呼吸器感染症（ARI）20.93（15.29）が増加しています。
- 例年より早くインフルエンザが流行しています。感染予防に留意してください。

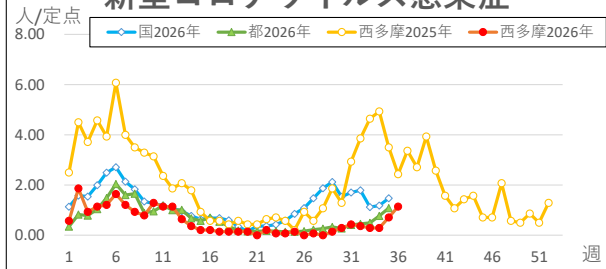
管内の感染症集団発生状況 () は内訳

- インフルエンザ1件（保育施設）の報告がありました。

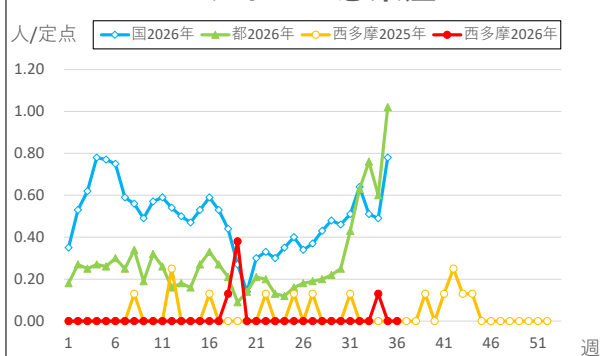
インフルエンザ



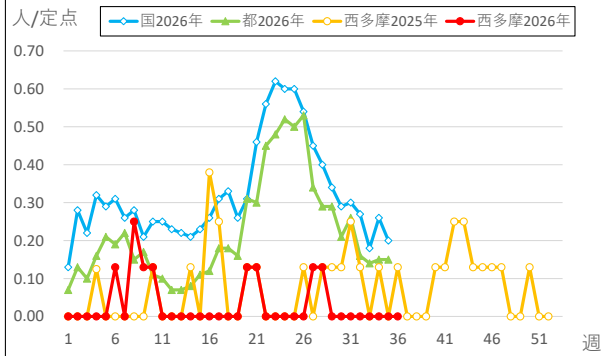
新型コロナウイルス感染症



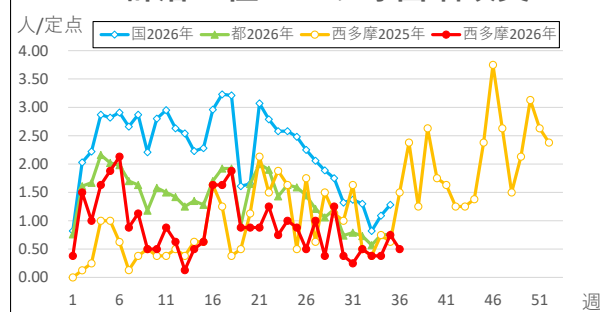
RSウイルス感染症



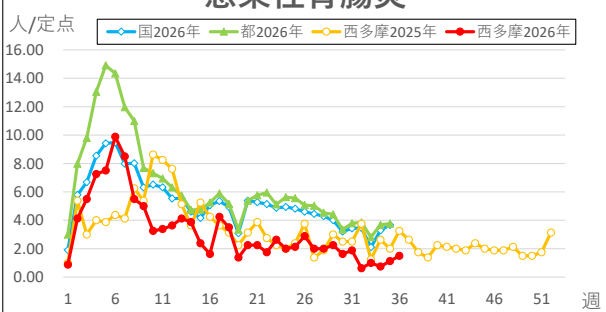
咽頭結膜熱



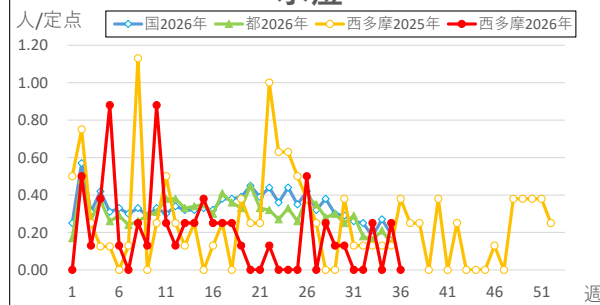
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



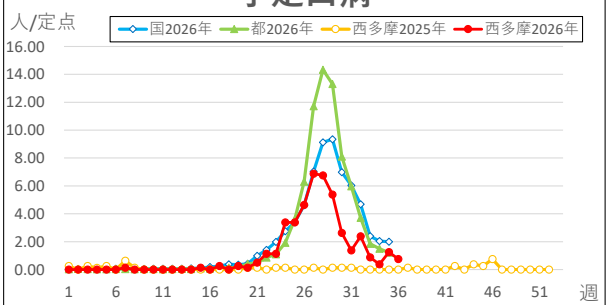
感染性胃腸炎



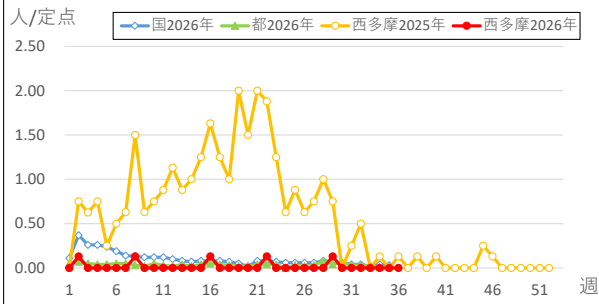
水痘



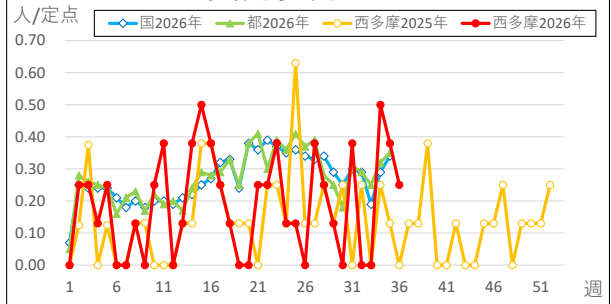
手足口病



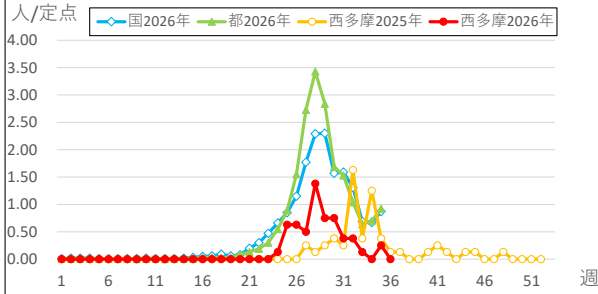
伝染性紅斑



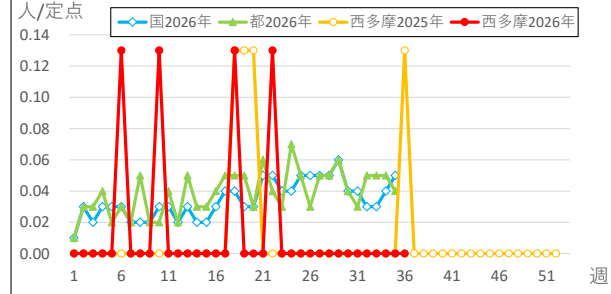
突発性発しん



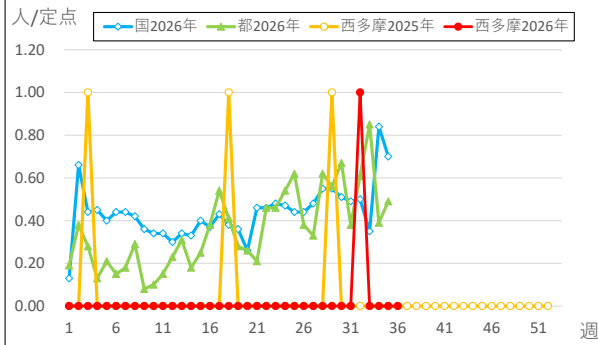
ヘルパンギーナ



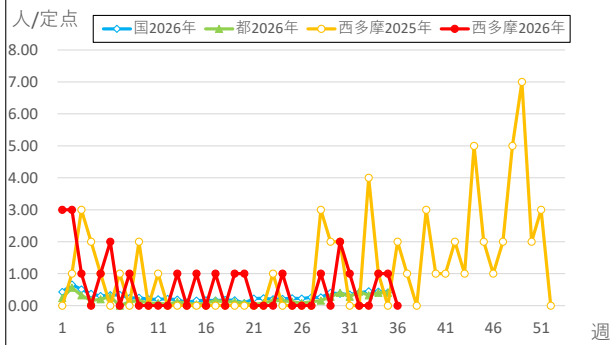
流行性耳下腺炎



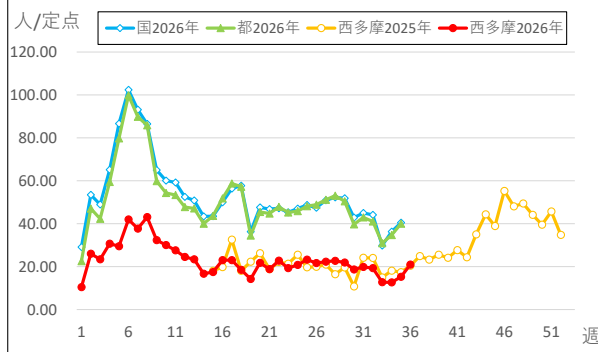
流行性角結膜炎



マイコプラズマ肺炎



急性呼吸器感染症（ARI）



＊今週のトピックス＊

～実は夏だけの病気じゃない！ ～咽頭結膜熱（プール熱）～

「プール熱」と聞くと、プールに入ることの多い夏に流行しやすいイメージですが、夏以外にも感染する可能性があるのをご存知でしょうか。

今回は、そんな夏季だけの病気ではない、咽頭結膜熱（プール熱）についてご紹介します。

どのような病気ですか？

咽頭結膜熱は、アデノウイルスによって引き起こされる感染症です。感染経路は飛沫感染・接触感染です。プール利用時の接触やタオルの貸し借り等による感染があることから、別名「プール熱」とも呼ばれ、ヘルパンギーナ、手足口病と並んで「子どもの三大夏かぜ」の1つともいわれます。近年はタオルの共用が減った等の理由からプール利用に関連した集団感染報告は少なくなりました。しかし、冬など季節を問わず流行したり、大人への感染にも注意が必要な病気となってきています。



主な症状は、4～5日ほど続く発熱、咽頭炎（のどの痛み・発赤等）、結膜炎（目の充血、めやに等）を3主症状とし、その他リンパ節の腫れ、腹痛、下痢などが生じることがあります。症状は1～2週間でおさまりますが、重症化した場合は肺炎などを合併することもあります。

どのように治療・予防できますか？

咽頭結膜熱には特效薬はなく、治療は症状を和らげる対症療法が基本です。上記の症状が生じたときは、重症化する前に早めに医療機関を受診しましょう。咽頭結膜熱に有効なワクチンはありません。飛沫感染・接触感染対策として、流水とせっけんによる手洗い、うがいなどで、ある程度感染を予防することができます。特に、症状消失後も約1か月は尿・便からウイルスが排泄されるため、排泄後の手洗いや排せつ物の処理には十分に注意しましょう。また、流行時にプールや温泉施設を利用する際は、前後のシャワーを必ず浴び、感染者との密接な接触やタオルの共有は避けるようにしましょう。



右記の「都民向け情報リーフレット（咽頭結膜熱が流行しています！）」も併せてご参照ください。



東京都感染症情報センター 咽頭結膜熱 PCF (Pharyngoconjunctival fever)
<https://idsc.tmph.metro.tokyo.lg.jp/diseases/pcf/>

直近8週間の西多摩保健所管内定点医療機関報告数（定点当たり）

	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	1週目からの 累計
インフルエンザ	0 (0.00)	1 (0.07)	2 (0.14)	3 (0.21)	10 (0.71)	3 (0.21)	28 (2.00)	36 (2.57)	1,803
新型コロナウイルス感染症	2 (0.14)	4 (0.29)	6 (0.43)	5 (0.36)	4 (0.29)	4 (0.29)	10 (0.71)	16 (1.14)	281
RSウイルス感染症	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	1 (0.13)	0 (0.00)	0 (0.00)	5
咽頭結膜熱	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	10
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	10 (1.25)	3 (0.38)	2 (0.25)	4 (0.50)	3 (0.38)	3 (0.38)	6 (0.75)	4 (0.50)	257
感染性胃腸炎	18 (2.25)	13 (1.63)	15 (1.88)	5 (0.63)	8 (1.00)	6 (0.75)	9 (1.13)	12 (1.50)	929
水痘（みずぼうそう）	1 (0.13)	1 (0.13)	0 (0.00)	0 (0.00)	2 (0.25)	0 (0.00)	2 (0.25)	0 (0.00)	56
手足口病	43 (5.38)	21 (2.63)	11 (1.38)	19 (2.38)	7 (0.88)	3 (0.38)	10 (1.25)	6 (0.75)	349
伝染性紅斑	1 (0.13)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	5
突発性発しん	1 (0.13)	0 (0.00)	3 (0.38)	0 (0.00)	0 (0.00)	4 (0.50)	3 (0.38)	2 (0.25)	54
ヘルパンギーナ	6 (0.75)	6 (0.75)	3 (0.38)	3 (0.38)	1 (0.13)	0 (0.00)	2 (0.35)	0 (0.00)	47
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	4
流行性角結膜炎	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	1 (1.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	1
マイコプラズマ肺炎	0 (0.00)	2 (2.00)	1 (1.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	1 (1.00)	1 (1.00)	0 (0.00)	23
急性呼吸器感染症（ARI）	298 (21.29)	261 (18.64)	278 (19.86)	252 (18.00)	178 (12.71)	165 (12.69)	214 (15.29)	293 (20.93)	11,508

○グラフは、5類定点把握対象疾患についての推移を表しています。グラフ縦軸の目盛は定点あたりの患者報告数です。
 ○管内定点医療機関数は、小児科定点8、内科定点6、眼科定点1、基幹定点1となっています。
 ○毎週の患者報告数は、管内の定点医療機関から毎週月曜日に報告を受け、週報として木曜日に発行いたします。
 ○データの出典元は、下記のとおりです。国及び都のデータは1週間遅れで掲載しております。
 〈出典〉東京都、西多摩保健所のデータ：東京都感染症情報センター <https://idsc.tniph.metro.tokyo.lg.jp/>
 国のデータ：国立健康危機管理研究機構（JIHS） <https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/index.html>